

あなたなら きっと できる!

# Yes, You Can

埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園 進路通信 第10号 令和5年1月28日発行

問合せ先：[sinnro-soudan@ohmiya-sd.spec.ed.jp](mailto:sinnro-soudan@ohmiya-sd.spec.ed.jp)

## ★内定体験記★ ～就職編①～

今回は、UDトラックス(株)に内定が決まった高等部3年生のSさん、医療法人 大宮シティクリニックに内定が決まった高等部3年生のTさんの就職内定体験記です。



私が就職しようと思った理由は、早く自立したいと思ったからです。私は、高2の夏までは大学進学を目指していました。普通科である以上、大学に行ってから就職した方がいいのではないかという思い込みもありました。そのため様々な資格の検定を受けてきましたが、肝心の大学でやりたいことが見つかりませんでした。部活動の先輩に大学の魅力を聞きましたが、それでも自分には合わないと感じ就職に興味を持つようになりました。



そこから私は、様々な職場見学に積極的に参加し、菱信データ・IHIなどの事務系の会社見学や日本製罐・UDトラックスなどの現場実習を経験しました。そこで、私は事務職より製造業の方が合うと感じ、UDトラックスを本命に就職を進めることにしました。

それから、内定をいただくために就職試験に向けての勉強や履歴書作成をしました。面接、SPIの勉強などやらなければならないことが増え、嫌になってしまうこともありましたが、今思うとこの苦しい日々があったからこそ就職が決まったのだと思います。自分の進路を実現するには、数多くの経験や練習が必要です。のんびりと過ごす時間が勿体無いと感じるほど高3は時間に追われます。その忙しさを乗り越えた人が自分の希望する道を切り拓くことができるのです。周りに流されて進路を決めるのではなく自分の意志を大切にしましょう。私は、多くの友達、先生がいたからこそここまでこられました。自分の進路ですが、この経験を通しそれを実現できたのは誰のおかげなのかしっかりと考えることができました。感謝という気持ちは本当に大切です。何気ないことでも『ありがとう』と言える信頼関係が築けます。

4月に入社する緊張もありますが、全力で取り組みたいと思います。周りから信頼される社員になれるようがんばります!



私は、「大宮シティクリニック」から内定を頂きました。それまでのエピソードについて話したいと思います。まず、私はこの学校に転校してくる前から高校を卒業したら働くと考えていました。理由は早く収入を得て自立したいという考えがあったからです。ろう学校は健聴の学校とは違い、色々な会社で実習をしたことがとても良い経験になりました。実習の経験を踏まえ、大宮シティクリニックを第1希望にしましたが、正直自分の中では迷いが残っていました。そのため、別の会社で夏休みに3日間実習をしました。やはり大宮シティクリニックが自分に合っていると思い、9月に2週間の実習を経て、内定を頂きました。私の中では履歴書作成や面接練習も大変でしたが、それよりも本当にこの病院でいいのかという迷いの方が大きかったです。この病院で何年も働けるのか、うまく馴染むことが出来るのか不安が大きく、履歴書の志望理由の欄の所も「どうして私はこの病院を選んだのか」という大事なところが書けずに毎日落ち込んでいました。そんな自分が嫌で泣いた時もありました。この病院で働きたいと強く心に決めたいきっかけは、9月の実習でした。実習が始まるまでずっと心の中にモヤモヤが残っていました。実習では、挨拶と返事は元気にやると決め、毎日その2つを頑張りました。周りの職員の方も不安な気持ちの私に「今日も頑張ってる」と声をかけていただく事が多く、不安がだんだん薄れていくのを実感しました。2週目には病院の雰囲気にもすっかり馴染むことができ、将来自分がこの場にいるというイメージをもつことができました。



最後に、これから進路を決める皆さんには、自分がここで将来働いているイメージが出来るという職場を選んで欲しいです。人に言われたからではなく自分がここで働きたいと思ったから選んだというのは本当に強みになると思います。春から新社会人として責任感を持ち、一人前の大人になれるよう頑張っていきます。

Omiya City Clinic